

保護者の皆様

認定こども園総合施設
函館若葉幼稚園

令和6年度学校評価報告について

日頃より、本園の教育・保育に対しましてご理解とご協力下さり、誠にありがとうございます。
ございます。

保護者の皆様からご協力頂きましたアンケート回答により、評価結果を
ご報告させていただきます。

また、担任による自己評価、関係者評価の実施、結果の公表（学校評価報告）に
より、保護者の皆様からご理解と参画を得て信頼され開かれた幼稚園づくりを
進めていこうと存じます。

当園がこれまで取り組んできました遊び中心の教育・保育への評価として
真摯に受け止め、多様な視点を持って改善へとつなげていけるよう努めて参ります。

今後共、ご支援ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

自己評価結果と保護者によるアンケート結果

1、本園の教育目標

宗教的な雰囲気の中で「明るく元気な子」「心ゆたかな子」「自分からすすんで
行う子」の育成

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・子どもたちの気付きや考えの変化、友だちや環境とのかかわりに目を向け、ドキュメンテーションや動画配信を通して記録、発信を行い、保護者の方へ幼稚園の保育・教育について大切にしていることを理解していただくよう努める。
- ・子どもたちの視点に合わせた思いや理解に努め、子どもたちに考える時間をもうける保育・教育を心がける。
- ・子どもたちが考え、安心安全に生活を送り遊べる環境を整える。

令和 6 年度 自己評価項目一覧

評価分類			内 容	A	B	C	D
	1	園 の 教 育 理 念・教育目標 の理解	○園の教育理念や教育目標を理解する	62%	38%		
			○園の教育理念に基づいて教育目標について園長や保育者と話し合う	31%	46%	23%	
	2	幼稚園教育要 領の理解	○幼稚園教育要領を読み、園長や保育者と話し合って理解に努める	31%	46%	23%	
	3	教育課程の編 成	○園の教育課程は、幼稚園教育要領の精神を踏まえ、園の教育理念・教育目 標を基に編成する	38%	62%		
			○園の教育課程を理解し、それに基づいて保育の計画を立てる	62%	38%		
	4	指導計画の作 成	○指導計画は幼児の発達に即して幼児期にふさわしい生活を展開できるよう に具体的に作成する	62%	38%		
			○指導計画は幼児の実態や周囲の状況の変化に対応できるような順応性の あるものにする	46%	54%		
	5	環境の構成	○安全で清潔感のある環境を構成する	54%	38%	8%	
			○幼児が主体的にかかわりたくなるような素材や遊具を考えて環境を構成する	38%	62%		
			○幼児が自ら活動を展開していけるような場や空間の構成をする	46%	54%		
			○遊びに必要な遊具や用具、素材などを質・数量に配慮して用意する	38%	46%	16%	
			○楽しい雰囲気の中で安心して遊びこめる環境を構成する	46%	54%		
			○幼児の活動がより豊かになるように、活動の展開に応じて環境を再構成する	38%	46%	16%	
			○幼児の発想を柔軟に取り入れて、保育室の装飾や展示をする	38%	46%	16%	
			○園地・園庭の樹木や草花の名前、季節による変化などを理解し、環境構成に いかす	46%	23%	31%	
			○幼児の発達や生活を見通した環境の構成をする	38%	54%	8%	
			○季節の変化に応じた環境の構成をする	38%	62%		
			○異年齢の幼児が自然に交流できるような環境の構成をする	46%	38%	16%	
	6	評価・反省	○自分の保育についての評価・反省をいくつかの観点から行う	23%	54%	23%	
			○自分の保育を評価・反省することで、次の保育にいかす	30%	62%	8%	
II	1	健康と安全へ	○朝の登園時には特に視診を大切に子どもの体調が悪くないかを確かめる	77%	23%		

保育 の在 り 方、 幼児 への 対応		の配慮	○けがや事故に気をつけ、万一、事故やけがが発生した場合は、園長に報告し、保護者に連絡をとり、医師に見てもらうなど適切な処置を行う	92%		8%	
			○園内に危険な個所がないか、危険な遊び方はしていないか常に配慮し、危険が予測される場合は安全な遊び方について幼児と一緒に考える	62%	23%	15%	
			○園内の清掃や整理整頓、換気、採光、室温などに気を配る	23%	62%	15%	
	2	幼児理解	○一人ひとりの幼児をよく観察すると同時に周囲にも目を配る	62%	30%	8%	
			○幼児の話をよく聞き、幼児の思いを受けとめる	38%	54%	8%	
			○個々の幼児の発達の姿や課題について、見通しをもって理解する	38%	54%	8%	
			○幼児同士のかかわりの姿を捉え、そこでの幼児の育ちを理解する	62%	38%		
			○幼児たちが今、興味や関心をもっていることを知る	46%	46%	8%	
			○幼児の理解のために家庭との連携をとる	46%	46%	8%	
			○幼児の姿を多面的に捉えるように心がける	69%	31%		
	3	指導とかかわり	○幼児の思いや考えに共感しながら、幼児と一緒に活動する	62%	30%	8%	
			○幼児が理解しやすいような、正しい言葉を使う	84%	16%		
			○幼児の心を傷つけたり、人権を無視したりする言葉や態度、かかわり方をしない	84%	16%		
			○善悪の判断、思いやりなどの道徳性を培ううえでのモデルとなるように心がける	77%	23%		
			○幼児の一人ひとりのありのままの姿を受け入れ、その子のよさを認めるように心がける	77%	23%		
			○幼児の話をよく聞いたり、スキンシップをとるようにする	77%	23%		
			○幼児が遊びを深めていくための、適切な援助をするように心がける	77%	23%		
			○幼児の年齢に応じた援助の仕方を工夫する	77%	23%		
			○幼児が自ら考えたり工夫したりできるように見守り、行き詰まっているときには適切な援助をする	54%	46%		
			○幼児同士のトラブルに対し、適切な対応をするように心がける	84%	16%		
			○幼児を無視したり、体罰を加えることはどのような場合もしない	100%			
	4	保育者同士の協力・連携	○クラスに関係なく、その場にいた保育者が適切な言葉がけや対応をするように心がける	77%	23%		
			○クラスの環境構成などについてもお互いにフランクに意見を交換し合う	54%	31%	15%	

			○幼児のことについて保育者同士で話し合い、共通理解をするように心がける	62%	38%		
			○他のクラスや異年齢の幼児たちと触れ合うような、さまざまな工夫をする	54%	38%	8%	
Ⅲ 保育者としての資 質と能力	1	専 門 家 として の能力・姿勢・ 義務	○幼児の性格や個性を把握し、幼児の考えや感じていることを理解する	62%	38%		
			○保護者に対し、幼児や自分の保育のことをわかりやすく話し、保護者との信頼関係を築くよう努める	69%	23%	8%	
			○保育時間外でも保育者としての誇りと自覚をもった言動を心がける	77%	23%		
			○幼稚園には自分自身のプライベートな生活をもち込まないようにする	77%	23%		
			○幼児や保護者との対応には、公平さを欠かさないようにする	77%	23%		
			○服装、髪形、身だしなみなど、清潔感のあるものを心がける	77%	23%		
			○職務上、知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守る	100%			
			○園の重要書類は持ち出さない	100%			
			○締切りのある仕事や提出物は締切日をきちんと守る	77%	15%	8%	
	2	組 織 の 一 員 と しての在り方	○教職員全員で一つのチームであることを自覚する	84%	16%		
			○他の意見を素直な気持ちで聞いたり、自分の意見を述べるよう努める	62%	38%		
			○子どものこと、クラスの出来事などで必要なことは園長や主任に報告、連絡、相談をする	84%	16%		
			○当番や役割による仕事は確実にを行う	84%	16%		
			○園や保育者に関することについては、軽はずみに他に話さない	84%	16%		
	3	保 育 の 楽 し み・喜び	○幼児の成長を自分の喜びと感じる	84%	16%		
			○幼児と一緒に生活を創りだすことを楽しいと感じる	84%	16%		
Ⅳ 保護者への対応	1	情報の発信と 受信	○保護者に個々の幼児の様子を伝える工夫をする	84%	16%		
			○保護者からの相談や要望には心を開いて、よく話を聞くように心がける	92%	8%		
	2	守秘義務の遵 守	○保護者の住所、電話番号など個人情報の管理については園の方針に従う	100%			
			○個々の幼児や保護者、家族の情報は口外しない	100%			
	3	対応上のマナ ー・心がまえ	○日常生活において、その場にあった正しい言葉を使うようにする	77%	23%		
			○電話は、相手が見えないために誤解が生じやすいことを心に留め、簡潔にわかりやすく話すことを心がける	77%	23%		
			○保護者からの依頼や伝言などについては、メモをするなどきちんと対応する	84%	16%		
	4	クレームへの	○保護者からクレームがあった場合は、まず謙虚にその話を聞き、園長に報	84%	16%		

		対処の仕方	告、連絡、相談をする				
			○クレームの内容によっては教職員全体で検討し、共通理解のうえで対処する	100%			
V 地域の自然や社会との かかわり	1	地域の自然・人々とのかかわり	○地域の人々と親しくあいさつや会話を交わすように心がける	77%	23%		
			○地域の自然や主な施設の場所、交通機関、行事などについて理解するよう努める	62%	30%	8%	
			○地域の自然や機関についてマップを作成するなど、利用しやすい工夫をする	23%	15%	62%	
	2	小学校との連携	○小学校の教育内容について理解するよう努める	23%	15%	62%	
			○地域の小学校の行事や公開授業に関心をもつ	23%	15%	62%	
	3	子育ての支援と地域への開放	○子育ての支援や地域開放について具体的な形や内容を理解する		54%	38%	8%
			○子育ての支援や地域開放について、教職員全体で話し合う		62%	38%	
VI 研修と研究	1	研修・研究への意欲・態度	○研修会や研究会には自己課題をもって進んで参加する	77%	23%		
			○自分の保育について自己課題をもって評価・反省を行う	69%	23%	8%	
			○自分の保育の在り方や悩みについて、他の保育者や主任、園長に相談する	62%	38%		
	2	保育者としての専門性に関する研修・研究	○幼児の発達理論を学び、保育にいかすための研修・研究を行う	62%	38%		
			○記録の取り方、考察の仕方に関する研修・研究を行う	38%	62%		
			○教育課程や指導計画の理解と作成に関する研修・研究を行う	54%	46%		
			○保育記録に基づいた評価方法と計画に関する研修・研究を行う	54%	46%		
			○幼児の発達を見通した環境構成や教材に関する研修・研究を行う	46%	31%	23%	
			○保護者への対応に関する研修・研究を行う	38%	46%	16%	
			○地域社会との交流に関する研修・研究を行う	15%	31%	31%	23%
			○保育者同士の協力・連携に関する研修・研究を行う	15%	70%	15%	
	3	今日的課題に関する研修・研究	○アレルギー、自立の遅れなど、最近多く見られる問題について理解する	69%	31%		
			○障がいのある幼児の理解と対応について研修する	62%	38%		
			○子ども主体の保育・教育について研修・研究する	62%	30%	8%	
			○幼小連携の必要性や具体的方策について研修する	16%	38%	46%	
			○危機管理の必要性と対応について研修する	46%	54%		

- ・ A～十分達成されている
- ・ B～達成されている
- ・ C～取り組んだが、成果が十分でない
- ・ D～取り組みが不十分である

3、自己評価結果

I 保育の計画性について

- ・子どもの姿から予想して計画をたててきたが、新しい発想や、展開、工夫が足りず子ども達に満足感を与えることができなかった。
- ・発達に特性のある子への計画が不十分で、支援の目的を明確にして計画的に進めることができなかった。
- ・遊びの継続や発展が見られず、放置されたおもちゃや明日につながらない気持ちをどのように受け止めていくと良いか、また環境構成の工夫など試行錯誤不足であった。

II 保育の在り方、幼児への対応

- ・自主性、自立心があり進んで遊ぶ子が多くなってきた反面、少しでも目を離すと怪我につながることを再確認した。これからも子どものやりたい気持ちを大切に、危険予測を個々に配慮をしながら見守るよう心掛けたい。
- ・子どもたちの遊びが展開していくような環境構成をしたり、継続的な遊びにつなげていくことができなかった。子どもたちの気付きや柔軟な発想を活かし、また遊びたい、もっと面白くしたいと思えるような環境を作っていきたい。
- ・子ども達のやり取りの中で話を聞く力、気持ちを伝える力が弱いと感じていたが、その力をうまく育てることができずにいた。話しやすい環境をつくりながら、伝わる楽しさや共感してもらえる喜びから“聞くこと”“伝えること”ができるような教育・保育を行っていきたい。
- ・1日を通して慌ただしくゆっくり関わることに欠けていたと反省する。生活習慣の部分では興味を持って取り組もうとする姿に寄り添い、できるようになるため日々を積み重ねていけるように向き合いたい。

III 保育者としての資質と能力

- ・自分を客観的に捉え日々の反省を行うことが不十分であった。
- ・クラス運営だけでなく、園全体の仕事にも責任を持ち取り組むよう心掛ける必要があった。
- ・気持ちの切り替えに時間がかかる子が多く、その子の思いを十分に受け止めきれないこともあった。自分に余裕がないときはきめ細やかに配慮することができないと感じることもあったので、視野を広げていけるように努めていきたい。

IV 保護者への対応

- ・体育や英語など指導者がいる中で補助の立場から動画を取ることは可能であったが、以上児クラスは補助が足りなく、動画が取れずにいた。数分でも些細な様子を取るなど、工夫をしながら配信だけではなく、送迎の際の会話、電話連絡等で、保護者との時間を作る努力をするべきだった。
- ・支援が必要と思う子に対して、保育者間で連携を取りながら実践し、家庭との連携を取りながら不安を与えないような配慮を考えていきたい。

V地域の自然や社会とのかかわり

- ・ 幼少連携の話し合いに参加し、実際に小学校との意見交換を行うことで、小学校を意識し幼稚園生活を見直すことができた。
- ・ 地域について知ろうとしたり、活用ができていなかった。

VI研修と研究

- ・ 様々な研修を受けることができたが、来年度はさらに学んだことを園に還元できるように積極的に発信したい。
- ・ 研修で学んだことを活かしたいと思っていたが、今までも自分の保育に戻ってしまうことが多々あったので、十分にいかせるように努力していきたい。
- ・ 研修内容に偏りがないように、様々なジャンルの研修を受け、しっかり知識を身に付けていきたい。

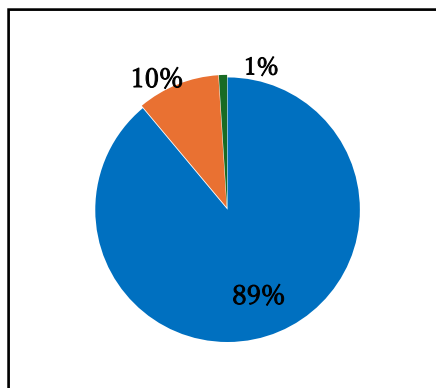
4、保護者アンケート結果

■ そう思う

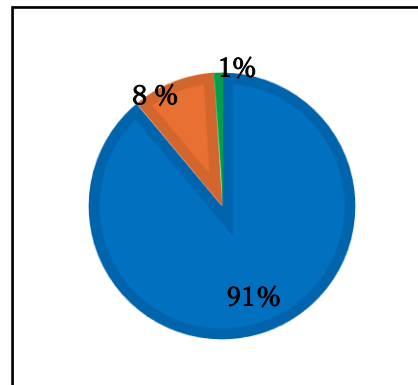
■ あまり思わない

■ 思わない

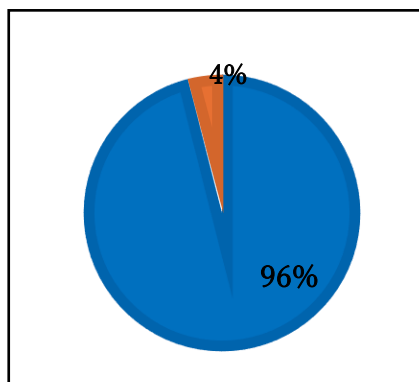
1,園は、教育・保育方針や教育目標を分かりやすく
伝えていますか



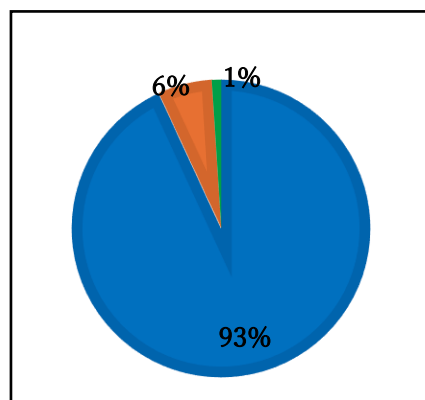
2,園は、教育・保育方針や目標を、こども達の
育ちに生かしていますか



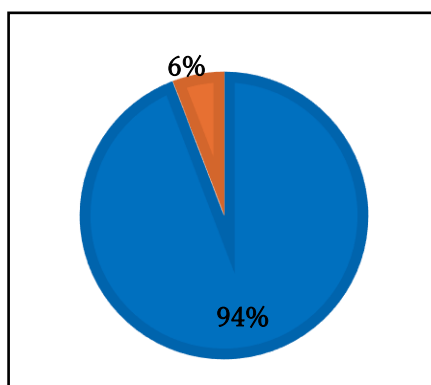
3,お子さんは、喜んで登園し、親しみやすいと感じて
いますか



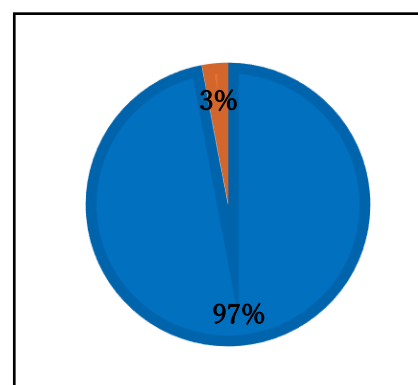
4,園は、子どもの発達段階や興味、関心に応じた
保育が行われていますか



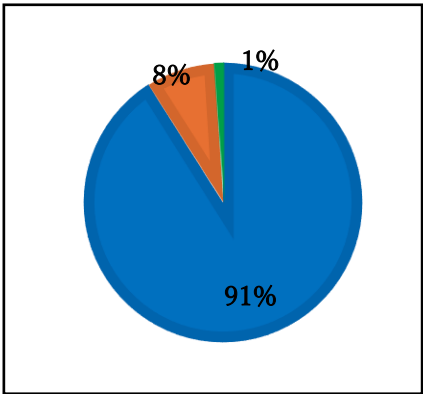
5,園は、一人ひとりの個性を大切にし、意欲や自信
を持たせていますか



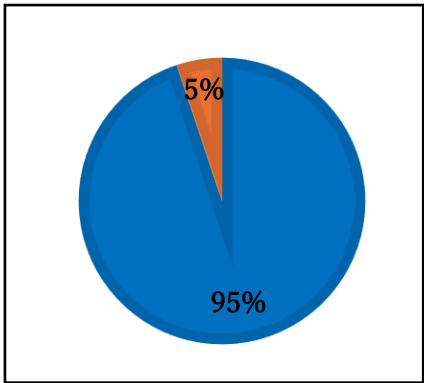
6,園は、異年齢が触れ合える環境構成をしてい
ますか



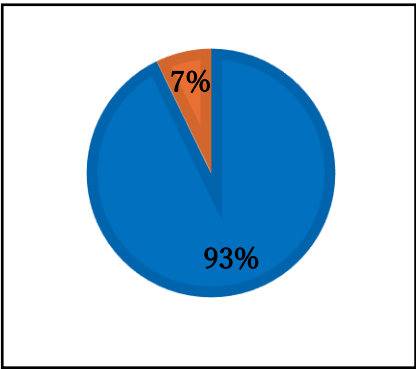
7,保育者は、一人ひとりの子どもをよく理解していますか



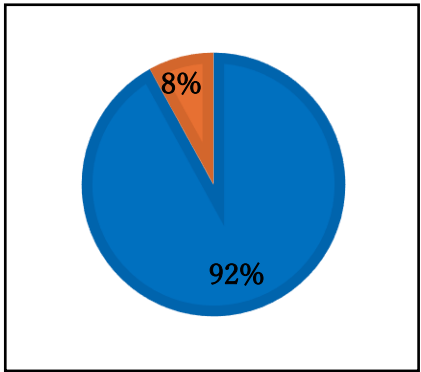
8,園は、保育の指導方法や内容に工夫されていますか



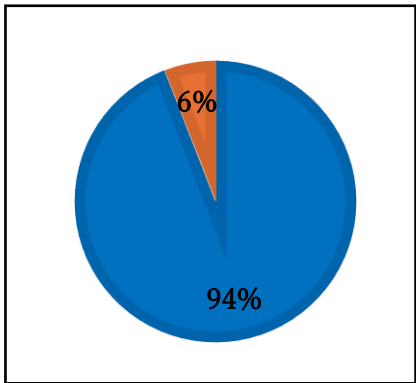
9,園は、園の活動を HP やドキュメンテーション、動画配信等で伝えることができますか



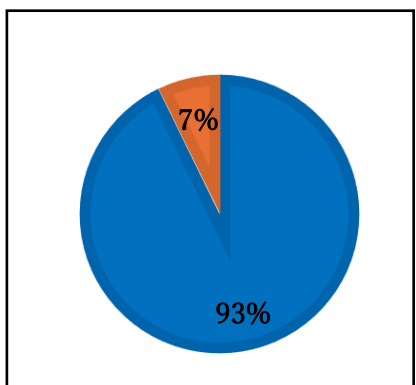
10,保育者は、子どもの保護者の悩みや問題に対して、適切に対応していますか



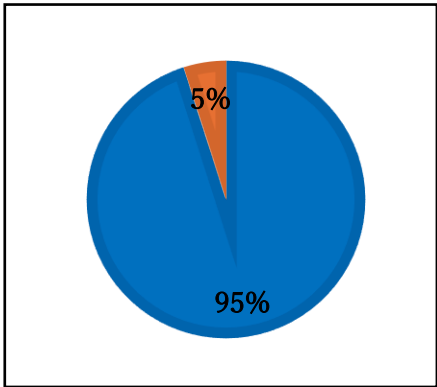
11,園は、行事日程等、保護者が参加しやすいような配慮をしていると感じていますか



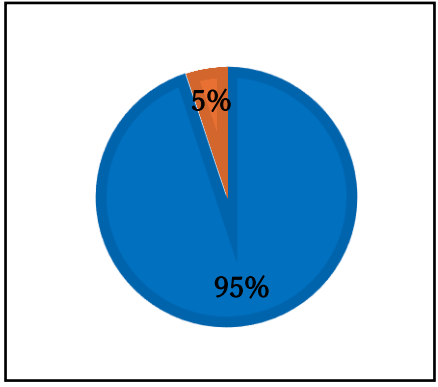
12,園は、子どもの様子や連絡事項、怪我や病気等への対応は適切に行われていますか



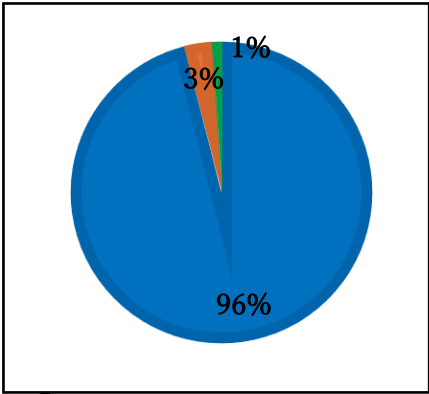
13,園は、子どもが安全で心地よく過ごすための配慮（安全点検・事故防止・避難訓練）をし危機管理や安全対策に努めていますか



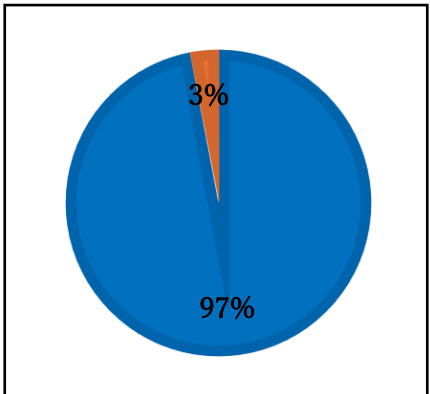
14,園は、施設設備（保育室・園庭・ひろば）教育環境の充実に努めていますか



15,園は、清掃や整理整頓が行き届いていますか



16, 園は、個人情報の取り扱いに十分注意していますか



保護者からのご意見ご感想

- ・時代に合わせた柔軟な保育内容や、ネットを活用しあそびに取り入れていてとても良い。
- ・動画や写真などによって、園でどのように過ごしているかが分かり安心して仕事ができる。
- ・家庭ではできない様々な体験・経験重ね、成長を感じる。
- ・園からの動画や製作物が家庭での会話のきっかけになり、親子で楽しんでいる。
- ・子どもが毎日喜んで登園し、興味を引く遊びや製作、行事など次々と楽しみが待っている。
- ・子どもの発達に応じて、できることお家ででもやってみてほしいことなど声をかけていただき助かっている。
- ・子どもに寄り添った保育してくれている。
- ・先生達のやさしさやお気遣いに何度も救われた。
- ・若葉幼稚園に通えて良かった。
- ・季節行事の動画配信がクラスによって差があり残念である。忙しい中だとは思いますが沢山配信してほしい。
- ・保護者が先生の事をわかるような対策をしてほしい。
- ・園児への対応を偏りなくしていただければ良いと思う。
- ・進級時の担任変えの際には、母子共に不安がないよう配慮をお願いしたい。

上記からのまとめとして

過分なる評価を頂きありがとうございます。

園の教育・保育方針や目標につきましては、更にしっかり伝わる教育・保育を目指す必要性と、より一層子ども達の育ちに活かせる環境づくりが重要であると改めて感じました。

集団の中であっても個々の思いや考えを受け止め、教育・保育を心がけてきましたが、まだまだ配慮が足りず、不安な思いをさせていたこと反省するところであります。

今回のアンケート結果を受け、子ども達が豊かな経験のなかで、個々を十分に発揮しながら集団生活を楽しみ、心も身体も豊かに育っていくことを願うと共に、一方通行ではなく園と保護者が協力しより良い環境づくりができれば幸いと考えます。

5、令和7年度への取り組むべき課題

- ・子ども達の声に耳を傾け、思いに寄り添い、遊びの質を高めることができるよう日々の振り返りをしっかり行い試行錯誤を重ねる。
- ・保育者や補助教諭との連携をはかる。
- ・配信や連絡を通して家庭との連携をはかり、個々の理解に努める。
- ・研修を通して新しい教育・保育をアップデートし、理解を深め実践していく。

6、学校関係者の評価

学校評価委員会

視点の提示

子どもたちの様子

- ・ 子どもたちが自分たちで考え、楽しんで遊んでいるか
- ・ 友だちとの関わりの中で、自分の考えや意見を話している様子
- ・ 意見や考えの違いから、意見のぶつかり合いがあるか

保育者の関わり

- ・ 子どもたちの意見をしっかりと聞き入れて保育をしているか
- ・ 保育者の考えを押し付けていないか
- ・ 子どもたちが考える前に保育者が判断していないか
- ・ 遊びが展開していくような声かけをしているか

環境について

- ・ 危険がないように、環境設定されているか
- ・ 自由に遊べるような環境が整っているか

参観内容の概要

○子どもたちの遊びと学び

- ・ 子どもたちは自分たちで遊びを創造し、楽しんでいる様子が見られた
- ・ 友達との関わりを大切にし、意見を交わす場面が多く見受けられた
- ・ 意見の違いが出た時にも、お互いに話し合いながら折り合いをつけ解決しようという姿が見られた

○保育者の関わり

- ・ 先生方は、子どもたちの意見をしっかりと聞き入れ、保育に活かしていた
- ・ 先生の考えを一方向的に押し付けることはなく、子どもたちが自分で考える時間を大切にしていた
- ・ 遊びが展開しやすいように、適切な声かけを行い、子どもたちが自発的に遊びを広げていた

○環境設定

- ・環境は安全に配慮されており、危険がないように整備されていた
- ・子どもたちが自由に遊べるスペースが確保され、選択肢が豊富に提供されていた

評価委員からの意見と提案

- ・ **子どもたちの自発的な遊び**
子どもたちが自分たちで遊びを作り上げ、ルールを決めて楽しむ様子が見られた。今後はさらに「自分の意見を持つ」「相手を思いやる」といった、社会性やコミュニケーション力を養う活動を増やすと良いと思う
- ・ **保育者の声掛けについて**
先生方は、子どもたちが自発的に考えることを促す声掛けをしており、非常に素敵なアプローチをしていた。今後も子どもたちの「考える力」を育む環境を維持し、さらに多様な遊びを展開できるような声掛けをお願いしたい
- ・ **環境整備の継続**
環境は安全で、遊びや学びに集中できる場所が提供されていた。引き続き、子どもたちがもっと自由に創造力を発揮できるような環境作りを進めていければ良いと思う

今後の課題と改善点

1. **社会性を育む機会の強化**
子どもたちの意見や感情の違いを認め合い、共感し合う場面をもっと増やしていくことが求められる。具体的には、協力して解決する遊びやグループ活動を強化に努める。
2. **保育者のさらなる深い関わり**
先生方は良い関わりをしているので、より多くの子どもたちが自己表現できるように、一人ひとりに対して細やかなサポートを行うことが今後も課題となる。
3. **環境のさらなる充実**
子どもたちが自分のペースで遊べる空間を工夫し整える。外遊びや異年齢の交流を促進するために、施設内外の環境をより活用できるような取り組みを工夫し整える。

7、財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている